

若い兄弟たち、信頼される人になりましょう！

「あなたが率いる若者たちは.....露のよう」。[詩編 110:3](#)

39 番の歌 神の前で良い名を得る

何を学ぶか*

1. 若い兄弟たちにはどんな素晴らしい面がありますか。

若い兄弟たち、皆さんにはできることがたくさんあります。皆さんの中には、体力があり、元気いっぱいです。（[格 20:29](#) 若い人の素晴らしい力）若い兄弟たちは会衆にとって大切な存在です。皆さんは、援助奉仕者に任命されるのを楽しみにしているかもしれません。それでも、周りの人からは、大切な仕事を任せるには若過ぎるとか経験不足だと思われているような気がするかもしれません。たとえ若いとしても、会衆の人たちからの信頼と敬意を得るために、今できることがあります。

2. この記事ではどんなことを考えますか。

この記事では、ダビデ王が経験した出来事を幾つか取り上げます。また、ユダの2人の王、アサとエホシャファトに生じたことも短く考えます。この3人はどんな問題にぶつかったでしょうか。どのように反応しましたか。若い兄弟たちは3人の例から何を学べるでしょうか。考えてみましょう。

ダビデ王から学ぶ

3. 若い人たちはどんな分野で年長の兄弟姉妹の助けになれますか。

ダビデは若い時に、人のためになるスキルを身に付けました。ダビデは、エホバを深く愛していましたし、楽器を演奏するスキルを磨き、その能力を神に選ばれた王サウルのために用いました。（[サム一 16:16, 23](#)）若い兄弟の皆さんにも、会衆の人たちのためになるスキルがあることでしょう。例えば、個人研究や集会でタブレットなどの電子機器をどのように使えるかを知っているかもしれません。こうしたことを年長の兄弟姉妹に教えてあげるなら、きっと喜んでもらえるでしょう。



ダビデは、責任感のある信頼できる人だった。父親の羊の群れを世話し、襲ってくる熊から羊を守ることさえした。（4節を参照。）

4. 若い兄弟たちは、ダビデのようにどんな態度を身に付ける必要がありますか。（表紙の絵を参照。）

ダビデは日頃から、自分が責任感のある信頼できる人であることを示していました。若い時には、父親の羊の群れを一生懸命に世話をしました。この仕事には危険が伴うこともありました。ダビデはサウル王にこう説明しています。「私は父の羊の羊飼いになりましたが、ライオンや熊が来て群れから羊を奪っていくことがあります。私は後を追い、打ち倒し、くわえられていた羊を助け出しました」。（サム一 17:34, 35）ダビデは責任感を持って羊を世話をしていたので、羊を守るために勇敢に戦いました。若い兄弟たちもダビデのように、与えられた仕事を何でも一生懸命に行いましょう。

5. 詩編 25 編 14 節によると、若い兄弟たちにできる最も大切なこととは何ですか。

ダビデは若い頃から、エホバとの強い絆を築いていました。その絆は、ダビデの勇気や演奏のスキルよりもずっと大事なものでした。ダビデにとって、エホバは神であるだけでなく、親しい友でした。（詩編 25:14 を読む。エホバは、ご自分を畏れる人を親しい友とし）若い兄弟たち、皆さんにできる最も大切なことは、天のお父さんエホバとの絆を強めることです。そうすれば、さらに多くの奉仕の機会が与えられるかもしれません。

6. ある人たちはダビデに対してどんなネガティブな見方をしていましたか。

ある人たちはダビデに対してネガティブな見方をしていたので、ダビデはそうした問題を乗り越える必要がありました。例えば、ダビデがゴリアテと戦うことを申し出た時、サウル王はやめさせようとして、「あなたはまだ少年だ」と言いました。（サム一 17:31-33 サウルはダビデに言った。「あなたがあのフィリスティア人と戦うことはできない。あなたはまだ少年だが、彼は若い時から戦士なのだ」）その少し前には兄から、無責任だと責められました。（サム一 17:26-30/28 一番上の兄エリアブは、ダビデが話しているのを聞き、怒ってこう言った。「どうして来たのか。荒野のわずかな羊は誰に預けてきたのか。おまえはいつも出しゃばる。魂胆はよく分かっている。ただ戦いを見に来たんだろう」）しかしエホバは、ダビデのことを若過ぎるとか無責任だとは見ていませんでした。ダビデのことをよく知っていたからです。ダビデは力を求めて、友であるエホバに頼り、ゴリアテを打ち倒しました。（サム一 17:45 あなたは剣とやりと投げやりを持って向かってくるが、私はあなたが挑んだイスラエルの戦列の神、大軍を率いるエホバの名によって向かっていく、48-51 ダビデはかばんに手を入れて石を1つ取り、石投げ器で投げ、彼の額を撃った。石は額にめり込み、彼はうつぶせに倒れた。50 こうしてダビデは石投げ器と石だけでそのフィリスティア人に勝った。撃ち倒して殺したのである。ダビデの手に剣はなかった。51 ダビデは走り寄って彼のそばに立った。それから彼のさやから剣を抜き、それで首をはねて確実に殺した。フィリスティア人たちは仲間の強い戦士が死んだのを見て、逃げていった）

7. ダビデの経験から何を学べますか。

ダビデの経験から何を学べますか。忍耐する必要があるということです。あなたのことを子供の頃から知っている人に大人と見てもらえるようになるには、時間がかかるかもしれません。一方、エホバは外見だけを見る方ではありません。あなたがどんな人で、何ができるかをよく知っています。（サム一 16:7）また、エホバとの絆を強める必要があります。ダビデはそうするために、エホバが創造したものをよく観察しました。そして、そこから創造者についてどんなことが分

かるかを深く考えました。 (詩 8:3, 4; 139:14。ロマ 1:20) さらに、力を求めてエホバに頼ることも大切です。もしかすると、エホバの証人だという理由で、学校の友達からからかわれることがあるかもしれません。そんな時には、乗り越えるための助けを求めてエホバに祈りましょう。そして、聖書や出版物やビデオに出てくるアドバイスを当てはめてください。エホバの助けを経験するたびに、エホバに対する信頼は深まっていくでしょう。さらに、あなたがエホバに頼っている様子を見る人々は、あなたのことを信頼するようになるでしょう。



若い兄弟たちがほかの人のためにできることはいろいろある。(8-9 節を参照。)

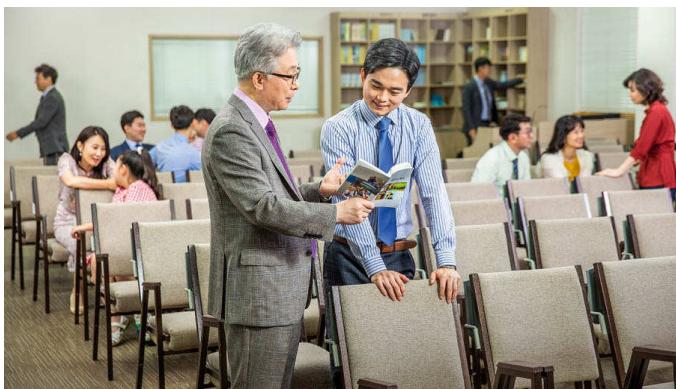
8-9. ダビデが王になるまで忍耐して待てたのはなぜですか。若い兄弟たちはダビデの例から何を学べますか。

ダビデはほかにもどんな問題にぶつかったでしょうか。油を注がれて次の王になるよう選ばれてから、ユダ王国を実際に治めるようになるまでに、何年も待たなければなりませんでした。(サム一 16:13 サムエルは油が入った角を取り、兄たちの前で彼に油を注いだ。その日からダビデはエホバの聖なる力を受けるようになった。サム二 2:3, 4 ダビデは、共にいた人たちやそれぞれの家の人たちも連れていった。a。彼らはヘブロンと周辺の町に住んだ。4 そこへユダの人たちがやって来て、ダビデに油を注いで*ユダ族の王としたb。ダビデのもとに、「ヤベシュ・ギレアデの人たちがサウルを葬った」という知らせがあった) その間、忍耐して待つのに何が助けになったでしょうか。すっかり落ち込んでしまうのではなく、自分にできることをしました。サウルから逃げてフィリスティア人の地方で暮らしていた時、その機会を活用してイスラエルの敵と戦いました。そのようにして、ユダの領土を守ったのです。(サム一 27:1-12⁷ ダビデがフィリスティア人の土地に住んだ期間は1年4カ月だった。5 ダビデはしばしば部下たちと共に出ていき、ゲシュル人1、ギルズ人、アマレク人2を襲撃した。その人々はテラムからシュル1、そしてエジプトにまで広がる地域に住んでいたのである)

若い兄弟たちはダビデの例から何を学べますか。エホバや兄弟姉妹のためにできることを何でも行いましょう。リカルド兄弟の経験を考えてみましょう。*兄弟は10代の前半から、正規開拓者になることを目指していました。しかし、さらに進歩が必要だと言われました。兄弟は諦めたり腹を立てたりするのではなく、もっと奉仕に出るようにしました。こう言っています。「振り返ってみると、確かに進歩が必要だったと思います。関心を示した人全員を再訪問し、毎回の訪問のためによく準備するようにしました。人生で初めて、関心を持つ人との聖書研究を始めることもできました。経験を積むほど、さらに自信が付きました」。リカルド兄弟は、今では立派な正規開拓者また援助奉仕者として奉仕しています。

10. ある時ダビデは、重要な決定をする前に何をしましたか。

10 ダビデが経験した出来事をもう1つ考えてみましょう。ダビデと部下たちは、サウルから逃げていた時、家族を家に残して戦いに出掛けていきました。ところが、留守にしている間に敵が家を襲撃し、家族を連れ去ってしまいました。ダビデは、それまでの戦いの経験を生かして、家族を救い出すための作戦を自分で考えることもできたでしょう。でも、そうするのではなく、導きを求めてエホバに頼りました。祭司アビヤタルにエフォドを持ってきてもらい、「略奪隊の後を追うべきでしょうか」とエホバに尋ねました。エホバはダビデに、追っていくようにと言い、家族を救い出すことができると保証しました。（[サム一 30:7-10](#)¹⁸ ダビデはアマレク人に奪われたものを全て取り返した。[o](#)。2人の妻も救い出した。[19](#) 自分たちのものを何もかも一つ残らず奪い返した。息子や娘たちも奪われた物も [p](#)、全てをダビデは取り返した）この出来事から何を学べますか。



若い兄弟たちが長老にアドバイスを求めるのは大切なこと。（11節を参照。）

11. 決定をする前にどんなことをすると良いですか。

11 決定をする前にアドバイスを求めてください。親に相談しましょう。経験を積んだ長老たちに話すなら、良いアドバイスをもらえるでしょう。エホバが長老たちを信頼しているのですから、あなたも信頼することができます。長老はエホバから会衆への「贈り物」なのです。（[エフェ 4:8](#)人々という贈り物を与えました）その信仰に倣い、アドバイスに従うなら、良い決定ができるでしょう。では次に、アサ王の例から学びましょう。

アサ王から学ぶ

12. 統治を始めた頃のアサ王はどんな人でしたか。

12若い時のアサ王は、謙遜で勇気がある人でした。例えば、父親のアビヤの跡を継いで王になると、国から偶像礼拝を除き去るために立ち上りました。またユダに、「父祖たちの神エホバに仕えて律法とおきてを守るように」と言いました。（[代二 14:1-7](#)代わりにアビヤの子アサが王になった。アサの時代、国は10年間平穏だった。[2](#)アサは、エホバ神から見て正しくて良いことを行った。[3](#)外国の神の祭壇 [b](#)と高い場所を取り除き、聖柱*を [c](#)打ち碎き、聖木*を [d](#)切り倒した。[4](#)そしてユダに、父祖たちの神エホバに仕えて律法とおきてを守るようにと言った。[5](#)ユダの全ての町から高い場所と香台を取り除いた。[e](#)アサの統治の下、王国は平穏であり続けた。[6](#)アサは防備された町々をユダに築いた。[f](#)国には騒乱がなく、この時期、アサに対する戦争はなかった。エホバが彼を休ませたからである。[g](#)アサはユダに言った。「これらの町を築き、周りに城壁や塔 [h](#)、門やかんぬきを造りましょう。私たちがエホバ神に仕えたので、この土地は今も私たちのものです。私たちが仕えたので、神は周囲の敵から守って安心させてくださいました」。こうして建設はうまくいった）さらに、エチオピア人ゼラハが100万人の軍勢を率いてユダに攻めてきた時には、良い判断をしました。助

けを求めてエホバに頼り、こう言いました。「エホバ、あなたは、どんなに多くの人でもどんなに無力な人でも助けることができる方です。私たちの神エホバ、助けてください。私たちはあなたに頼り【ます】」。アサのこの言葉から、エホバが自分の国民を救い出してくださる、と確信していましたことが分かります。アサが天のお父さんエホバに頼ったので、「エホバは……エチオピア人を打ち破り」ました。（代二 14:8-12 アサには、大盾と小やりを装備したユダの兵士が 30 万人いた。また、小盾を持ち、弓で武装したベニヤミンの強い戦士が 28 万人いた a。9 やがて、エチオピア人ゼラハが 100 万人の軍勢と 300 両の兵車を率いて、攻めてきた b。ゼラハがマレシャ c に来ると、10 アサは向かって出ていき、マレシャのツエファタの谷で戦闘隊形を組んだ。11 アサはエホバ神に呼び掛け d、こう言った。「エホバ、あなたは、どんなに多くの人でもどんなに無力な人でも助けることができる方です e。私たちの神エホバ、助けてください。私たちはあなたに頼り f、あなたの名によってこの軍勢に向かって出てきました g。エホバ、あなたは私たちの神です。死にゆく人間があなたに勝つことがありませんように h」。12 すると、エホバはアサとユダの前でエチオピア人を打ち破り、エチオピア人は逃げ去った）

13. アサはどんな良くない決定をしましたか。そうしたのはなぜですか。その結果どうなりましたか。

13 100 万人の軍勢を相手にするというのは、考えただけでも恐ろしいことですが、アサはエホバに頼ったので戦いに勝つことができました。しかし残念ながら、この大軍の攻撃に比べれば小さく思えた別の問題に関しては、エホバに頼りませんでした。イスラエルの邪悪な王バアシャが攻めてきた時、アサはシリアの王に助けを求めました。その結果、大変なことになりました。エホバは預言者ハナニを通してアサにこう言いました。「あなたがシリアの王に頼り、エホバ神に頼らなかつたので、シリアの王の軍勢はあなたの手から逃れてしまいました」。その時以降、アサの生涯中は戦いが絶えませんでした。（代二 16:7, 9 エホバは、心の全てがご自分に向いている人の力*になろうとして、世界中に目を行き届かせています。今回の件であなたは愚かなことをしました。これからあなたに対する戦争があります。王一 15:32）どんなことを学べますか。

14. エホバに頼っていることをどのように示せますか。テモテ第一 4 章 12 節からすると、どんな良い結果になりますか。

14 いつも謙遜であり、エホバに頼り続けましょう。バプテスマを受けた時、あなたはエホバへの強い信仰と信頼を示しました。そして、エホバは自分の家族にあなたを喜んで迎え入れてくれました。いま大切なのは、エホバに頼り続けることです。人生を左右するような大きな決定をする時にはエホバに頼ることでしょう。でも、それ以外の時はどうでしょうか。何かを決める時にエホバに頼るのは、本当に重要なことです。エンターテインメントや仕事や人生の目標を決める時もそうです。自分の考えに頼らないようにしましょう。自分の状況に当てはまる聖書のアドバイスを探し、それを当てはめてください。（格 3:5, 6 心を尽くしてエホバに頼れ a。自分の考え*に頼ってはならない b。1 どんな道を行く時にも神のことを考えよ c。そうすれば神が真っすぐに進ませてくださる）そうすれば、エホバに喜んでもらえます。会衆の兄弟姉妹からの敬意も得られるでしょう。（テモテ第一 4:12 を読む。）

エホシャファト王から学ぶ

15. 歴代第二 18 章 1-3 節、19 章 2 節によると、エホシャファト王はどんな間違いをしましたか。

15 私たちはみんな完全ではないので、間違いをしてしまうことがあります。でも、だからと言って、ベストを尽くしてエホバに仕えるのをやめてはいけません。エホシャファト王の例を考えましょう。エホシャファトには良いところがたくさんありました。若い頃から「父の神に頼って神のおきてに従い」ました。また、高官たちをユダの町々に遣わし、エホバについて教えさせまし

た。 (代二 17:4 彼は父の神に頼って a 神のおきてに従い、イスラエルの慣行には従わなかった, 7 治世の第3年, エホシャファトは、ベン・ハイル、オバデヤ、ゼカリヤ、ネタヌエル、ミカヤという高官たちを呼び、ユダの町々で教えさせた) しかし、動機は良かったものの、良くない決定をしたこともありました。その結果、エホシャファトはエホバの預言者から助言を受けました。 (歴代第二 18:1-3 エホシャファトはこうして豊かな富と栄光を手にしたにもかかわらず a、結婚による同盟をアハブと結んだ b。 2 何年かした後、エホシャファトはサマリアのアハブの所に行った c。アハブはエホシャファトの一一行のために羊や牛をたくさん犠牲として捧げた。そして、ラモト・ギレアデ dを攻めに行くようエホシャファトにしきりに勧めた*。 3 イスラエルのアハブ王はユダのエホシャファト王に言った。「ラモト・ギレアデに私と一緒に行ってくれませんか」。エホシャファトは答えた。「私とあなたは一つです。私の民とあなたの民も一つです。私たちも一緒に戦います」; 19:2 神からの幻を伝える人ハナニ aの子エヒウ bが会いにやって来て、エホシャファト王に言った。「あなたが助けるべきなのは、悪い人でしょうか c。愛するべきなのは、エホバを憎む人でしょうか d。今回のこと、エホバはあなたに憤っていますを読む。) エホシャファトの例から何を学べますか。



若い兄弟たちは、務めを一生懸命にきちんと果たすなら良い評判を得られる。 (16 節を参照。)

16. ラジーブ兄弟の経験から何を学べますか。

16 助言やアドバイスを受け入れて当てはめましょう。多くの若い人たちが感じているように、あなたも生活の中でエホバへの奉仕を最優先するのは難しいと思うことがあるかもしれません。でも、がっかりしないでください。ラジーブ兄弟の経験を考えてみましょう。10代の時のことを振り返ってこう言っています。「時々、自分の目標が分からなくなることがありました。ほかの若い子たちと同じように、私も集会や奉仕よりスポーツや遊びの方が楽しかったんです」。何が助けになったでしょうか。親切な長老がアドバイスしてくれました。「その兄弟は、テモテ第一4章 8 節 体の訓練(*運動)も多少はためになりますが、神への専心はあらゆる面で有益です。今の生活と将来の生活が祝福される(*今の命と将来の命を約束する)からですの原則についてよく考えるよう助けてくれました」。ラジーブ兄弟はアドバイスを謙遜に受け入れ、目標を見直しました。こう言います。「私はエホバへの奉仕を最優先することにしました」。どんな結果になりましたか。「アドバイスをもらってから数年後、援助奉仕者に任命されました」。

エホバに喜ばれることをする

17. 会衆の兄弟姉妹は、エホバに仕える若い兄弟たちのことをどう思っていますか。

17 若い兄弟たち、会衆の兄弟姉妹は、自分たちと「肩を並べて」エホバに仕えている皆さんに深く感謝しています。 (ゼパ 3:9 皆がエホバの名を呼び*, 肩を並べて神に仕える) 皆さんに与えられた仕

事を熱心に心を込めて行っている様子を見て、喜んでいます。皆さんことを高く評価しているのです。（ヨハ一 2:14 若い皆さん、私が書くのは、皆さんが強く a、神の言葉を心に刻んでおり b、邪悪な者*を征服したからです）

18. 格言 27 章 11 節によると、エホバはご自分に仕える若い兄弟たちのことをどう思っていますか。

18若い兄弟たち、エホバが皆さんを愛し、信頼していることを忘れないでください。エホバは、終わりの時代に大勢の若い兄弟たちが喜んで自分を差し出すことを予告していました。（詩 110:1-3 あなたが軍勢を指揮する*日に、あなたの民は喜んで自分を差し出す。あなたが率いる若者たちは神聖さで光り輝く。夜明けに豊かに生じる露のよう）皆さんがエホバを愛し、ベストを尽くしてエホバに仕えたいと思っていることをご存じです。ですから、ほかの人に対しても自分に対しても忍耐を示しましょう。間違いをしてしまった時には、与えられるアドバイスや矯正をエホバからのものと考えて受け入れましょう。（ヘブ 12:6 エホバ*は愛する人を矯正するからだ。ご自分が子として迎え入れる人を皆むち打つ*のである）与えられた仕事を何でも一生懸命に行ってください。そして、何をする時にも、天のお父さんエホバに喜んでもらえるようにしましょう。（格言 27:11 わが子よ、賢くあって、私の心を喜ばせよ a。私をあざける*者に私が答えるためであるを読む。）

以下の人たちからどんなことを学べますか

ダビデ アサ エホシャファト

①ダビデ

- ・S7 忍耐する/エホバとの絆を強める/力を求めてエホバに頼る必要がある。
問題を乗り越えるための助けを求めてエホバに祈り、アドバイスを当てはめる。エホバの助けを経験するたびに、エホバに対する信頼は深まり、あなたがエホバに頼っている様子を見る人々は、あなたのことを信頼するようになる。
- ・S8-9 忍耐して待つ必要が有っても、落ち込まず、自分にできることをする
- ・S10 重要な決定をする前に導きを求めてエホバに頼った（親や長老にもアドバイスを求める）

②アサ

- ・S12 若い時のアサ王は、謙遜で勇気がある人だった。例えば、父親のアビヤの跡を継いで王になると、国から偶像礼拝を除き去るために立ち上がった。
エチオピア人ゼラハが 100 万人の軍勢を率いてユダに攻めてきた時にも助けを求めてエホバに頼り、エチオピアに勝利した
- ・S13 イスラエルの邪悪な王バアシャが攻めてきた時、アサはシリアの王に助けを求めた。その結果、大変なことになりました。エホバは預言者ハナニを通してアサにこう言いました。「あなたがシリアの王に頼り、エホバ神に頼らなかつたので、シリアの王の軍勢はあなたの手から逃れてしましました」。それ以降、アサの生涯中は戦いが絶えず。

⇒いつも謙遜であり、エホバに頼り続ける

③エホシャファト

- ・S15 エホシャファトには良いところがたくさんありましたが、邪悪なアハブ王と結婚による同盟を結ぶという良くない決定をしたこともあり、その結果エホバの預言者から助言を受けた。
⇒助言やアドバイスを受け入れる

135 番の歌 エホバの温かな呼び掛け 「わが子よ、賢く」 ありなさい